

# 大滝集落の日々と万世大路

おおたき

大滝集落は、旧国道 13 号（万世大路）を福島市中心部から 20 km ほど米沢側へ進んだ所にあった旧信夫郡中野村（現福島市飯坂町中野）の一集落です。

万世大路の福島県側は明治 10 年（1877 年）7 月工事に着手しています。その際に大滝（胡桃平地区）には、工事基地（宿舎・飯場）として 3 軒の旅館が発足し、これが大滝集落の起源となっています。開通後は、宿駅宿場街とし

て栄えたけれども、明治 32 年（1899 年）5 月南奥羽鉄道（現奥羽本線）の開通により衰退、その後住民の努力により林産業等で定着し、最盛期には 43 世帯、約 270 人（昭和 10 年（1935 年）1 月）を数えました。しかし、戦前戦後を通じ大滝集落の主力産業であった製炭業が昭和 30 年代後半に衰退したため過疎化が進行し、集落は昭和 53 年（1978 年）に閉郷、大滝 100 年の歴史に幕を閉じました。

今回は、万世大路と盛衰を共にして一時代を築いた大滝集落の日々の暮らしを振り返り紹介いたします。

なお万世大路とは、一般国道 13 号（旧 39 号・5 号）

のうち福島～米沢間の道路を指す名称です。この道路は、明治14年（1881年）10月3日に開通したもので、折から東北ご巡幸中（帰路）であった明治天皇をお迎えし、この日栗子隧道米沢側で開通式がおこなわれました。式後福島あんざいしよ行在所（お泊まり所）までの途中、大滝集落中屋旅館なかやでご小憩されています（記念碑「鳳駕駐蹕之蹟」ほうがちゅうひつのせき）。

明治天皇は、「栗子新道」と称していたこの道路を「万世大路（ばんせいたいろ）」とご帰京後の翌年明治15年2月に命名されました。

(写真提供及び説明は、木村義吉前会長、高野英治・榎木新吉両前副会長、伊藤弘治理事、吉田トク様、大滝会  
HP (紺野文英管理人) 等によります。文責鹿摩貞男)

# 大滝集落内道路（万世大路）の変遷

- ・1881年(明治14年)10月3日 栗子新道(のち万世大路)開通する(L=48.3 km)

起点:福島県信夫郡福島町11丁目 元標 (現在福島市上町)

終点:山形県南置賜郡米沢今町 相生橋左岸 (現在米沢市相生町)

工事期間:明治9年(1876年)11月~明治14年(1881年)9月 (4年11ヶ月間)

福島県側:中野新道 L=29.8 km:M10.7~M14.9

山形県側:刈安新道 L=18.5 km:M9.11~M14.9

\* 福島県側の中野新道と山形県側の刈安新道は工事終了後併せて「栗子新道」と称し、後日明治天皇から「万世大路」の名称を賜う。

- ・1881年(明治14年)11月 栗子新道、国道3等に仮定(太政官公達)。
- ・1882年(明治15年)1月21日 栗子新道(後の万世大路)が「羽州街道」本道となる(従来は七ヶ宿街道経由)。

- ・1882年(明治15年)2月8日(2月9日)明治天皇から万世大路の名称を賜う。  
(以降栗子新道(羽州街道)は万世大路と称され現在に至る)
- ・1885年(明治18年)2月24日 万世大路、国道39号(東京～山形)となる。  
(この時初めて国道に路線番号が付された。三島通庸内務省土木局長)
  
- ・1920年(大正9年)4月1日 国道5号(東京～青森)となる。  
(国道39号から名称変更)。
- ・1937年(昭和12年)3月31日 昭和期2代目万世大路完成  
(「昭和の大改修」工事期間:昭和8年4月～昭和12年3月)
- ・1937年(昭和12年)5月10日 昭和期2代目万世大路、一般交通供用開始
  
- ・1952年(昭和27年)12月4日 名称変更。「1級国道13号」(福島～秋田)となる。  
(起点は、旧国道5号の分岐点であった福島市本町交差点(旧福ビル角)となる。  
終点は秋田市。)

- ・1953年(昭和28年)7月7日 福島市内平和通りが国道4号となる(区域変更)。  
(それに伴い、国道13号の起点(旧国道5号分岐点)が旧福ビル角から平和通り本町交差点(旧富士銀行角)に移行)
- ・1965年(昭和40年)4月1日 「一級国道13号」は「一般国道13号」となる。
- ・1966年(昭和41年)5月29日 現国道13号栗子国道(栗子ハイウェイ)開通する。  
工事期間:昭和36年(1961年)10月～昭和41年(1966年)5月 (4年8ヶ月)  
(舗装工事完成、昭和41年12月)
- ・1970年(昭和45年)4月8日 国道13号信夫山バイパス開通する(下り線)。  
(開通区間:福島市森合町(祓川)<sup>はらいがわ</sup>～福島市飯坂町平野<sup>ひらの</sup> L=5.7km)  
「栗子国道」(栗子ハイウェイ)が完成し、福島～米沢間の新しい国道が繋がる。  
(福島市飯坂町平野～福島市飯坂町中野字<sup>まないたいし</sup> 俎石(瀬沼)L=4.7 km分は、  
1968年(昭和43年)1月9日に開通済み。)

- ・1973年(昭和48年)4月17日 国道13号の起点が移動(バック)する。

国道13号の起点は、平和通り終点の国道4号との分岐点本町交差点(旧富士銀行角)にあったが、国道4号の区域変更(福島南バイパスの供用開始)に伴い平和通りが国道13号となり舟場町交差点(平和通り起点)に移動(バック)することとなった(現万世大路起点)。

- ・2011年(平成23年)10月2日

「万世大路開通130周年記念フォーラム」(米沢市 置賜総合文化センター)

- ・2016年(平成28年)5月29日

「栗子ハイウェイ開通50周年記念シンポジウム」

(米沢市 伝国の杜 置賜文化ホール)

- ・2016年(平成28年)9月11日

E13 東北中央自動車道(福島JCT～福島大笹生IC、L=1.46 km)開通

- ・2017年(平成29年)11月4日

E13 東北中央自動車道(福島大笹生IC～米沢北IC、L=35.6 km)開通